

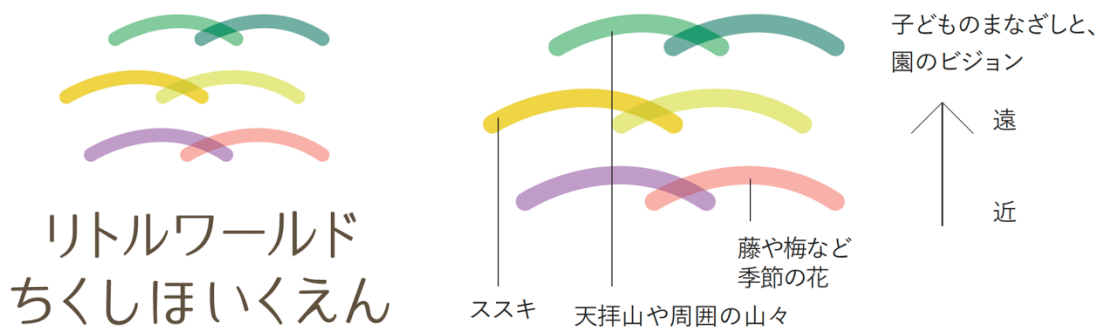
ロゴについて

「ちくしほいくえん」のロゴは、この地に息づく言葉とともに、ふるさとの詩人・安西均（あんざい ひとし）さんの詩から生まれました。ロゴマークのモチーフは、かつてこの地を揺らしていた「ススキ」。風にそよぎ、季節ごとに表情を変える、筑紫野の記憶を映し出しています。

視線は下から上へと向かいます。手元に落ちる光を見つめ、少し先の景色を探し、やがてその先の世界へと目を向ける。子どもたちのまなざしが、そっと広がっていく。その軌跡に、世界の広がり「包まれている」という安心感が込められています。

また、このかたちは園のビジョンでもあります。子どもたちを最も近くで見守りながら、その未来を見据え、より良い保育環境をつくること。時代に応じ、しなやかに育ち合うこと。

その思いが、園に息づいているさまを表しています。



クラス名とサインについて

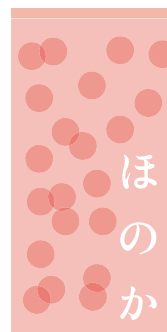
筑紫野のまちなかで触れることができる大和言葉や日本の伝統色。それらを活かして、季節感のあるクラス名とサインデザインを行っています。

美しい大和言葉は子どもたちの言語能力を養い、日本の伝統色は感性を刺激し、豊かな色彩感覚や表現力を育むことにつながります。

大和言葉や伝統色を使った季節感のしつらえは、子どもたちの地域（郷土）への理解も深めることにもつながります。



愛らしく鈴が鳴る
イメージ
【0歳児室】



ほのかにつぼみが
膨らむイメージ
【1歳児室】



のどかな、万葉の
ススキのイメージ
【2歳児室】



太陽や月、
木漏れ日などのイメージ
【3歳児室】



いろんな若葉が芽吹く
イメージ
【4歳児室】



藤が仲良く風に揺れる
イメージ
【5歳児室】



小さく広がる“ちひろ”
筑紫野の山々をイメージ
【遊戯室】

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 Branches 広報担当：中川内・小田代 MAIL : branches.kouhou@gmail.com

建築コンセプト

この園には、土地の記憶が息づいています。

筑紫野の豊かな山々と平野、そして悠久の歴史に寄り添い、園全体が「もうひとつの丘」となります。

子どもたちは、そのなだらかな起伏の中を駆け巡り、風や光と戯れながら、この地の風景に抱かれて健やかに育っていきます。

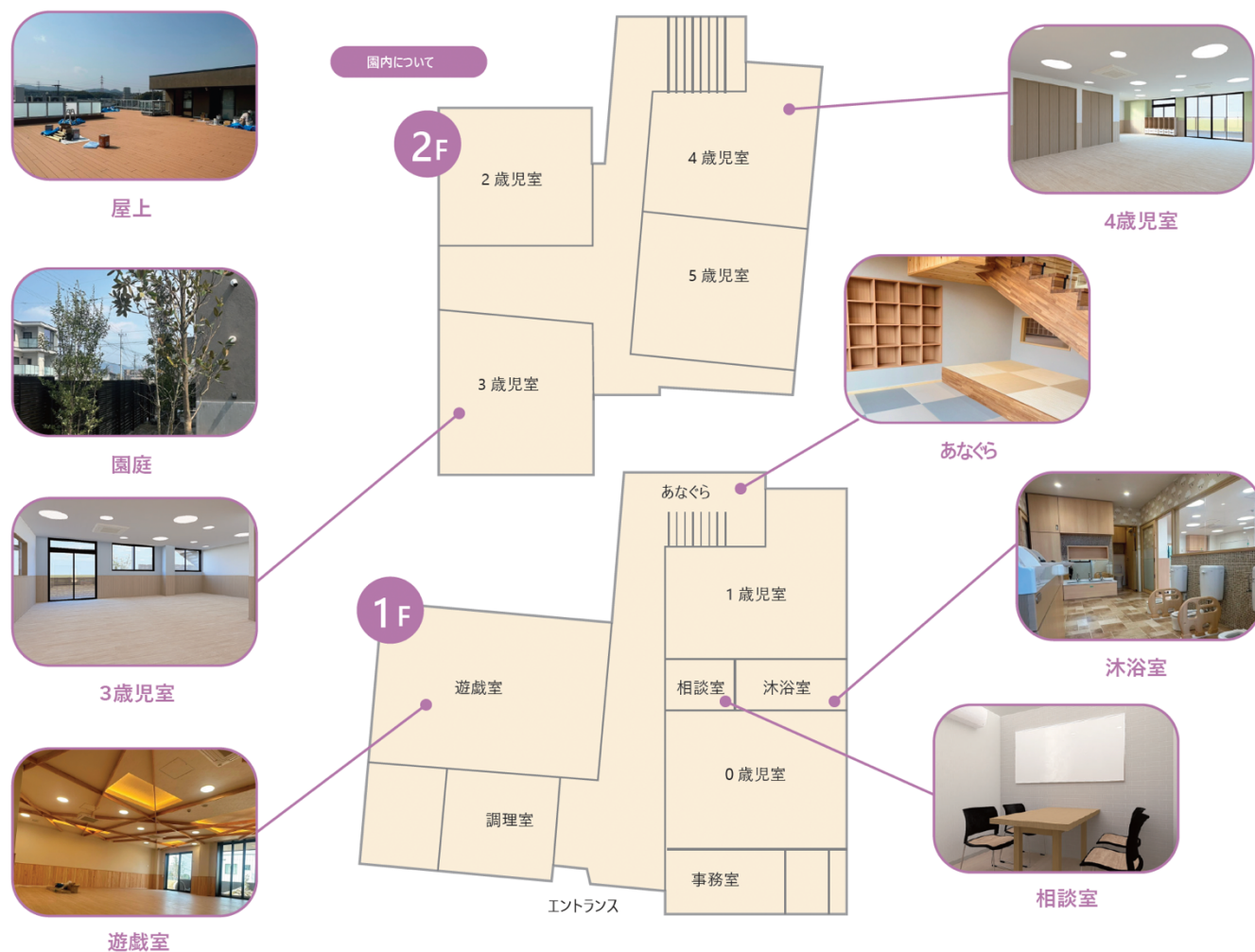
屋上に立つと、天拝山をはじめとする山々が視界いっぱいに広がります。

建物は、矢倉としての佇まいを持ち、その上に櫓がそびえる姿にも見えます。そこには、見守るものとしての時間が流れ、子どもたちの成長を静かに受け止める空間が生まれています。

内装には、地域の木材をふんだんに取り入れました。

天井の編み込むような造形は、糸と糸が寄り添い、紡ぎ合う姿を映し出しています。あるいは、枝を広げる樹木のようにとも言えます。一人ひとりがつながり、編まれ、広がっていく——。その営みは、この地の人々が育んできた歴史や文化と響き合いながら、新たな未来へとつながっていくかのようです。

悠久の時を抱く筑紫野の地で、紡がれる糸の先に、広がる枝の先に、子どもたちの未来があります。先人たちが大切にしてきた風景や文化がこの建物を通して、次の世代、その次の世代と受け継がれていくことを願っています。



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 Branches 広報担当：中川内・小田代 MAIL: branches.kouhou@gmail.com